

大津ヶ丘ニ小学力向上プラン

～ 基礎学力作りのための方策 ～

1年生

- 鉄棒、しりとり、登り棒
- 百ます計算（足し算・引き算）が最後までできる。
- 配当漢字のすべてが読め、8割の漢字を書くことができる。（リズム漢字、漢字トレーニング使用）
- 多層指導モデルMIM（ミム）活用
- 春の七草、かぞえうた、いろはうた、等の詩歌の暗誦

2年生

- 配当漢字のすべてが読め、8割の漢字を書くことができる。（リズム漢字、
- 時間を追って、経験を話すことができる。
- 助詞「てにをは」を適切に使い分けて文章が書ける。
- 九九がよどみなく言える。
- 百ます計算（足し算・引き算・かけ算）がそれぞれ3分以内にできる。
- 定規を使って筆算をきれいに書きながら、計算できる。
- 決められた長さの直線を正しく引くことができる。
- 十二支、たんぼぼ、どうぶつの順、うしろにうしろに等の詩歌の暗誦

3年生

- 配当漢字のすべてが読め8割の漢字を書くことができる。
- 短い詩が暗唱できる。（24節気、月の異名、数の単位、はじめて小鳥がとんだとき、等）
- 簡単なことわざを知っている。
- 主語と述語の意味がわかる。
- 百ます計算（足し算・引き算・かけ算）がそれぞれ2分以内でできる。
- 割り算（第三類型）50問を10分以内にすることができる。
*第三類型：あまりのある割り算であまりを出すとき、繰り下がりのある引き算をしなければならない問題のこと。
- コンパスを使って簡単な図形を書くことができる。
- phonics（基本的な発音）
- vocabulary 身近なものを英語で言えるようにする。

4年生

- 配当漢字のすべてが読め、8割の漢字を書くことができる。
- 文中の言葉のつながりが理解できる。
- 国語辞典、漢和辞典を正しく使うことができる。
- 好きな詩歌を暗唱する。（かく、はやくちことば、はやく、雲、象の子、等）
- ローマ字を適切に読み書きができる。
- 割り算（第三類型）50問を5分以内でできる。
- 倍をつかった文章題を、正しく解くことができる。
- phonics（単語、発音）
- vocabulary 身近なものを英語で言える

5年生

- 配当漢字のすべてが読め、8割の漢字を書くことができる。
- 今まで習った漢字を使った熟語の8割を書くことができる。
- いろいろな詩歌を暗唱する。（竹取物語、平家物語、自分の感受性くらい、等）
- 割り算（第三類型）100問を5分以内にすることができる。
- 連除法を使って、約分、通分、異分母分数の加減ができる。
- 歩合・百分率を使った問題を解くことができる。
- アルファベット（大文字、小文字）が書ける。

6年生

- 小学校で習得すべき漢字のすべてが読め、8割の漢字が書くことができる。
- 小学校で習う漢字を使った熟語の8割を正しく書くことができる。
- 歴史に残る古文のいくつかにふれ、暗唱できるものは暗唱する。（俳句、奥の細道、日本国憲法前文、等）
- 割り算（第三類型）100問を3分以内に解くことができる。
- 分数と小数が混じった計算をこなすことができる。
- 英和辞書引きができる。
- 日常英会話 classroom English
- アルファベット、簡単な単語が読める、書ける。

社会科・理科・総合的な学習編

- 3年生： 地図を使って、見知らぬ場所や地名を調べることができる。
- 4年生： 47都道府県の位置がわかり、正しく名前を書くことができる。
- 5年生： パソコンでローマ字入力ができる。
- 6年生： 歴史上の事件や人物について、短文で説明できる。
 重要な年号を30程度覚える。
 日本国憲法の前文を暗唱する。
 三権分立など、社会用語のだいたいの説明ができる。
 日本や世界の国々の主な国の位置を正しく示すことができる。
 理科の実験道具の正しい扱い方を知っている。
 パソコンで速ローマ字入力ができる。

中学校
へ進学

指導の原則

- 習っていない漢字でも必要に応じて板書に使い、その都度覚えさせる。（自分の氏名は漢字で必ず書く。）
- リズム漢字指導を行う。
- できる限りノートにしていねいに書かせることに努力する。
- 定規やコンパスなど、上手に使えるように指導する。
- 算数の文章題の立式には単位を書かせる。※ 速さなど、独自にわかりやすい単位をつけて良い。
- 筆算には必ず定規を使わせる。
- 家庭学習は、学年×15～20分を基本とする。それに応じ、宿題を出すものとする。
- 新出漢字は2学期中に指導を終え、3学期はその復習に充てる。
- 基礎基本にかかわるものやつまづきやすい教材については、独自にプリントなどの教材作りを進め、交流する。